



医療連携室 TEL &amp; FAX 03-3364-0366

## ご相談、お問い合わせはまずこの人に

医療連携室長・副院長 万代 恭嗣

平成15年10月1日より、医療連携機能をより強化するために、専任の連携担当係を置きました。”医療連携 なんでも相談係”といった性格を有する担当で、看護科長の磯野 元子 がその任にあたっております。

先生方からいただいた電話や FAX への対応、ご紹介いただいた患者様の診療日の設定、予約、当日のご案内など、まず初めにこの相談係にお声をかけていただくだけで、その後の処理を的確に判断し、迅速に対応するシステムを目指しております。看護師の資格をもつため、診療に関するご相談内容にも、よりきめ細かく対応させていただくつもりでおります。また、女性であることを生かして、女性の視点に立った応接も特徴としてゆきたいと考えております。一例として、ご紹介いただいた入院患者様の病室を訪問し、その容態を先生方にご一報させていただくなどしております。

特に、緊急に診療や入院を要する患者様につきましては、ご連絡をいただいた段階ですぐさま連携担当の部長医師と相談の上、対応すべき診療科を判断し、担当医師へ引き継ぐ体制を整えております。診療で急を要する患者様がおられましても、先生方のお役に立てることを願っております。

その他、ご紹介いただいた患者様の経過についても気を配っており、先生方へのご報告の達成状況などについても側面よりバックアップしております。当院医師からの連絡が不十分であるなどのお小言も、よりよい連携の構築のため大いに歓迎しておりますので、本相談係へご遠慮なくお寄せください。

また、院内での活動のみならず、積極的に地域へ出て、先生方をご訪問する予定です。すでに皆様の医師会事務局へはご挨拶に伺っており、今後折りをみて各先生方にもお目通りいただく予定にしております。連携係としても、顔の見える医療連携を実践しておりますので、今後とも、よろしくご指導ご鞭撻のほどお願い申し上げます。



磯野 元子看護科長



## 診療科紹介



### 心臓血管外科

心臓血管外科部長

高澤 賢次



この度、島村前部長の後任として7月に心臓血管外科に着任いたしました。

私は昭和60年に信州大学を卒業し、当時日本の冠動脈バイパス術の第一人者であった細田泰之順天堂大学胸部外科教授に師事しました。教授退任後の約1年間に冠動脈バイパス術を約150例行い待機的手術では手術死亡率0%と良好な成績を収めることができ、その後現在の日本の心拍動下バイパス術の第一人者である天野現教授のもとで心拍動下バイパス術の症例を経験してきました。この経験を生かし社会保険中央総合病院においては、細田前教授の sophisticated で gentle な手術と天野現教授の心拍動下バイパス術の卓越した技術を取り入れた手術を行ってゆく所存でございます。

#### 診療内容

1. 冠動脈バイパス術：長期開存に問題のある静脈グラフトはなるべく用いず、内胸動脈、橈骨動脈、胃大網動脈を用いた動脈グラフトによる血行再建を行います。また高齢者等のリスクの高い方に対しては人工心肺を用いない心拍動下バイパス術を行うことで術後の合併症を予防し、術後の早期の回復をめざします。人工心肺を用いた手術では手術後2週間、心拍動下バイパス術では手術後1週間から10日での退院が目安となります。
2. 弁膜症手術：人工弁置換術だけでなく、症例によっては自分の弁を温存する弁形成術を行います。
3. 血管手術：大動脈解離、腹部大動脈瘤、閉塞性動脈硬化症に対する手術を行います。現在では麻酔や手術手技の進歩により80歳以上の高齢者の方でも安全に手術をうけていただくことが可能となっており私の経験でもバイパス術の最高齢は85歳で術後問題なく退院しました。ご高齢の方でも心臓血管系の手術の適応でお悩みの場合は拝見させて頂ければ幸いに存じます。

スタッフ：高澤賢次、恵木康壮

心臓血管外科外来

高澤：月曜日、水曜日午前

恵木：火曜日、金曜日午前

診療情報提供書は簡単で結構ですのでご持参下さい。また緊急手術等で拝見できない場合にこちらからご連絡させていただきたいため、初診の外来はご予約をお願いします。

お急ぎの場合には外来日に関わらずご連絡いただければ迅速に対応させていただきます。

連絡先      ☎代表 03-3364-0251      FAX：03-3364-5663

外科外来 内線：2120（外来のご予約はこちらへ）

心臓血管外科部長室内線：2343

高澤院内ポケベル 095      恵木院内ポケベル：011

高澤メールアドレス：takazawa@pop11.odn.ne.jp

恵木院内ポケベル：011

高澤取得資格

日本外科学会指導医

日本胸部外科学会指導医